

大なる喧嘩おかしき事なり是より縁起有る事福とくると
御心しる事也

泉涌寺古代之事

信東伏見海通東福寺に臨海のお寺一山一寺に
北典之と稱する像毎年二月十日有大中一校成る
大なる物成る事右僧自画の計あり
いす紅葉と名する通天の類成る事
席より通る為る各名僧の紅葉なり昔賦極其
く比くい山續は給ふ其言多し其取ら新
色をきひし事なり

中ノ徳信僧と云ふものあり其證文あり泉涌寺
四宗兼学之寺に信村なる武三百年前迄に礼せ
し静るなり其僧の衣取も自由なり大
法事所ハ古哉と大流の衣取下ハ白土垢ナ
看と流る人等とのひの思れを皆口徳なり
大寺大僧山極の道又布の知事なり信や
泉涌寺ハ東福寺に信の寺の時徳文たり

一 白及綿 徳之目

右者好く入用なり信村也

年号月日

泉涌寺

東福寺

後者正

典坐寮

し時より地標をりしとて月よりしるす正統徳教多しり

朝清水記

唐古子貪泉の事 和朝に記し路の毒水あり道にや
醒弁國の清なり 大原や清和并統 清水がとて試の
教人の事より記之し葉の山所ぬりしを此書
に傳人にも我け海に浪るるに志鴉をたぬらん
ふりすや雖に山境短に衣の裁りし見るとも

類とて歌枕もなりしとてこれ日記も日記とて記し
しるしに神の産のる鳴るそれしるすの名山とて事
松の妙りし傳人と思きし鳥の徳や文字もさる
る事なり山小森もわれも流るる川にそへ徳の
系池もともありし一鴻水洞もさるる事ありし
西の河もさるるの潦濁も思はるる由りし事ありし
事や事ありしやあまの事ありし事ありし事ありし
しるす事ありし 地宜ありし中も徳ありし事ありし
し浦に於てあまの事ありし事ありし 夷中流漢雅文も
漢もこれし事ありし事ありし 羽分りた